

## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 クラスタテクノロジー 株式会社  
 コード番号 4240 URL <http://www.cluster-tech.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安達 良紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 駒井 幸三  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 06-6726-2711

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	305	24.1	16		14		15	
2020年3月期第2四半期	402	5.4	6		5		6	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	2.78	
2020年3月期第2四半期	1.16	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	1,377	1,271	92.3	223.43
2020年3月期	1,411	1,287	91.2	226.22

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 1,271百万円 2020年3月期 1,287百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	711	14.9	22		21		23		4.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	5,692,800 株	2020年3月期	5,692,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	208 株	2020年3月期	160 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	5,692,619 株	2020年3月期2Q	5,692,640 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染が依然続く中、国内外の経済活動が再開され、回復の兆しを見せております。特に、中国の7-9月期の国内総生産（GDP）は前年同期比4.9%増となり、他国に先駆けて経済は正常化しつつあります。

一方で、引き続きアメリカと中国の対立は続いており、11月のアメリカ大統領選挙後の情勢や欧州の新型コロナウイルス感染の広がりもあり、不確実性が高まっております。

わが国の製造業においても、各国の大規模な経済対策や生産活動の再開により回復途上にありますが、自動車販売の回復など明るい動きも出てまいりました。

当社においても、当事業年度初めから、新型コロナウイルス感染拡大に伴い生産及び営業面で大きな影響を受けましたが、第2四半期後半には、ナノ/マイクロ・テクノロジー関連分野を中心に、需要の回復の兆しが見えてまいりました。

このような状況下、当社は、事業方針「高精度・高機能に特化した樹脂製品の提供」及び「対処すべき課題」の具体的施策として、「新規開拓に向けた営業力の強化」、「顧客提案力の向上と新規開拓に向けた商品開発」、「生産力の強化と人材育成」を推進しております。

当第2四半期累計期間におきましては、「生産力の強化と人材育成」では原価低減に積極的に取り組んでおります。

また、「新規開拓に向けた営業力の強化」では、新型コロナウイルス感染による外出規制が緩和され、徐々に訪問を受け入れる顧客も増え始めていることから、漸く営業活動を推進していく方針です。

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連分野につきまして、映像機器分野は、デジタルカメラ市場において、レンズ交換式の出荷台数は依然、低迷しておりますが、一部の高級機種については、比較的堅調に推移しております。

OA機器分野や産業機器分野は、新規に量産へ移行した案件もあり、国内外の生産活動の再開も相まって、需要が回復してまいりました。

レジャー分野は、アウトドアレジャーの見直しによる需要増加の動きはあるものの在庫調整等の影響で売上が大幅に減少しました。

パルスインジェクター®（以下、PIJという）は、顧客企業の研究開発活動の再開で回復の途上にあり、大学研究室及び各企業の研究・開発部門へWebを中心としたアプローチを行っております。引き続き、研究開発を支えるツールとして多分野への展開を推進いたします。

マクロ・テクノロジー関連分野につきましては、樹脂成形材料、樹脂成形品ともに景気動向の影響は小さく堅調な中で小幅に下振れしております。

高耐熱性・高熱伝導体・低温硬化等の固形封止材「エポクスター®クーリエ」をはじめとする固形封止材につきましては、引き続き半導体デバイスメーカーや産業機器メーカー等へサンプルを供給しながら事業を展開・推進しております。

以上の結果、当第2四半期の売上高は305百万円（前年同期比24.1%減）、営業損失は16百万円（前年同期は営業損失6百万円）、経常損失は14百万円（前年同期は経常損失5百万円）、四半期純損失は15百万円（前年同期は四半期純損失6百万円）となりました。

当第2四半期セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料及び機能性精密成形品並びにPIJ関連製品の当第2四半期累計期間の売上高は208百万円（前年同期比30.3%減）、セグメント利益は87百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

②マクロ・テクノロジー関連事業

マクロ・テクノロジー関連事業につきましては、機能性樹脂複合材料、樹脂成形碍子及び金型・部品の当第2四半期累計期間の売上高は93百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益は20百万円（前年同期比38.9%増）となりました。

③その他事業

その他の事業につきましては、医療薬品容器の異物検査事業などにより、当第2四半期累計期間の売上高は2百万円（前年同期比175.3%増）、セグメント利益は1百万円（前年同期比209.2%増）となりました。

なお、第2四半期累計期間の業績は、2020年8月11日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」に対して、以下のとおり差異が生じております。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	303	△30	△30	△31	△5.44
今回実績 (B)	305	△16	△14	△15	△2.78
増減額 < (B) - (A) >	2	14	16	16	—
増減率 (%) < 増減額 / (A) >	0.7	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期累計 (2020年3月期)	402	△6	△5	△6	△1.16

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、総資産は1,377百万円となり、2020年3月期末に比して33百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が47百万円減少したことと、リース資産の取得により、有形固定資産のその他が14百万円増加したことによるものであります。

負債は、105百万円となり、2020年3月期末に比して17百万円減少いたしました。これは主に、流動負債内のその他に含まれる未払金が13百万円減少したことによるものであります。

純資産は、1,271百万円となり、2020年3月期末に比して15百万円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したためであります。

また、自己資本比率は、2020年3月期末に比して1.1ポイント増加して92.3%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度に比べ1百万円増加し、当第2四半期累計期間末には152百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は6百万円（前年同期は27百万円の減少）となりました。

かかる変動の主たる要因は、税引前四半期純損失の計上14百万円、売上債権の減少が47百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は4百万円（前年同期は8百万円の減少）となりました。

かかる変動の主たる要因は、有形固定資産の取得による支出の4百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は0百万円（前年同期はなし）となりました。かかる変動の主たる要因は、リース債務返済による支出0百万円によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2020年8月11日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	780,865	782,749
受取手形及び売掛金	154,253	106,629
商品及び製品	20,007	20,901
仕掛品	41,719	43,405
原材料及び貯蔵品	36,656	38,475
その他	3,070	2,023
流動資産合計	1,036,573	994,184
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	169,761	165,389
土地	160,500	160,500
その他(純額)	41,586	55,592
有形固定資産合計	371,849	381,482
無形固定資産	2,465	1,826
投資その他の資産	393	280
固定資産合計	374,707	383,589
資産合計	1,411,281	1,377,774
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	23,748	20,894
未払法人税等	10,926	5,974
賞与引当金	23,891	18,160
その他	60,970	41,721
流動負債合計	119,536	86,750
固定負債		
長期未払金	3,972	3,972
リース債務	—	15,127
固定負債合計	3,972	19,099
負債合計	123,508	105,850
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,240,721	1,240,721
資本剰余金	5,927	5,927
利益剰余金	41,232	25,402
自己株式	△107	△126
株主資本合計	1,287,773	1,271,923
純資産合計	1,287,773	1,271,923
負債純資産合計	1,411,281	1,377,774

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	402,141	305,167
売上原価	269,374	195,022
売上総利益	132,767	110,144
販売費及び一般管理費	139,714	126,173
営業損失(△)	△6,946	△16,029
営業外収益		
受取利息	466	457
売電収入	1,085	1,182
その他	516	367
営業外収益合計	2,069	2,007
営業外費用		
支払利息	—	116
売電原価	501	444
営業外費用合計	501	560
経常損失(△)	△5,379	△14,583
税引前四半期純損失(△)	△5,379	△14,583
法人税、住民税及び事業税	1,247	1,246
法人税等合計	1,247	1,246
四半期純損失(△)	△6,626	△15,830

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△5,379	△14,583
減価償却費	9,329	11,132
長期前払費用償却額	694	113
賞与引当金の増減額 (△は減少)	921	△5,730
受取利息及び受取配当金	△466	△457
支払利息	—	116
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,178	47,624
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16,437	△4,399
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,574	△2,853
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,370	△7,556
その他の資産の増減額 (△は増加)	360	1,475
その他の負債の増減額 (△は減少)	△4,646	△7,771
その他	2,722	△4,510
小計	△24,026	12,599
利息及び配当金の受取額	1	28
利息の支払額	—	△116
法人税等の支払額	△3,521	△5,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	△27,546	6,935
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,114	△60,114
定期預金の払戻による収入	10,113	60,114
有形固定資産の取得による支出	△8,513	△4,409
長期前払費用の取得による支出	△289	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,802	△4,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△19
リース債務の返済による支出	—	△623
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	△642
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△36,348	1,882
現金及び現金同等物の期首残高	187,945	150,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	151,596	152,634

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。